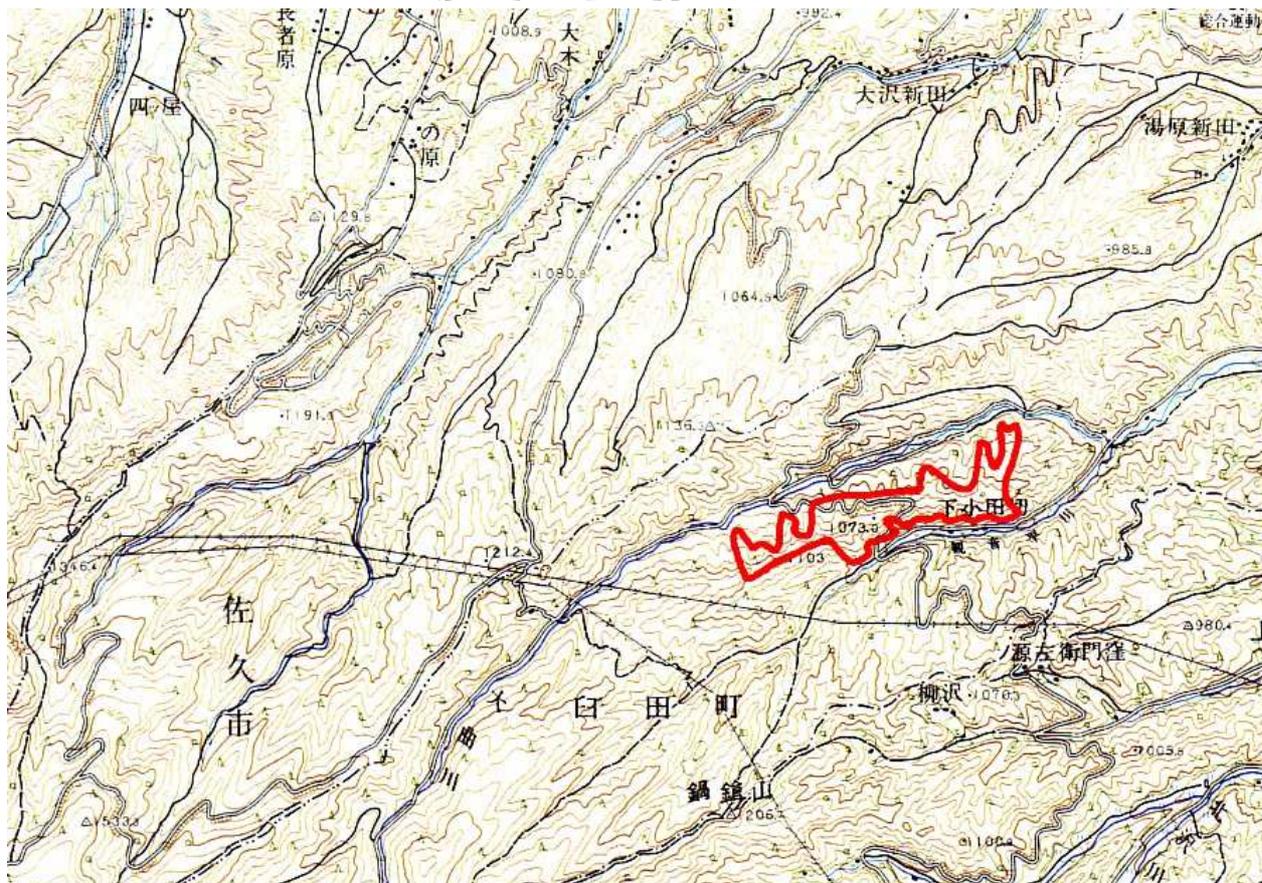


# 切原県有林



この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図（小諸）を使用したものである。

## <沿革>

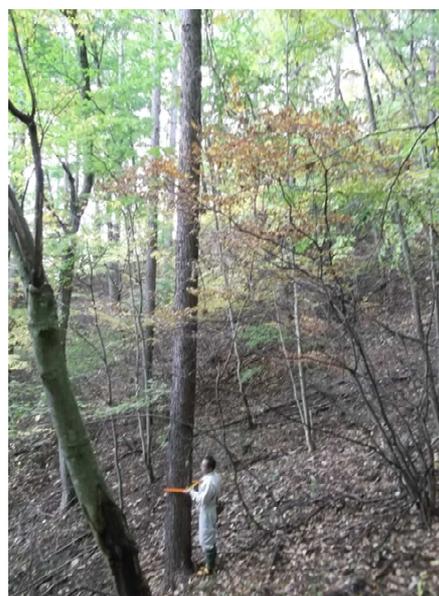
切原県有林は、佐久市（旧臼田町）の東にあり、標高950mから1,020mに位置しています。

明治38年10月4日、本県で最初に創設された記念すべき県有林で、当初は170haの面積がありましたが、地元への譲渡や戦後の自作農特別法による開拓用地の提供などにより現在では約48haとなっています。

## <現況・特色>

創設当初は、ケヤキ、クヌギなどの広葉樹が主体に植えられ、カラマツはわずかしかなかった。林内に10本ほど残っているケヤキは、その名残と思われる。県有林の中央を広域林道西山線が横断しており、これらを近くで見ることができます。

現在は、昭和15年以降に植えられたカラマツが主伐期を迎えており、現計画期間中に主伐・再造林を進めていきます。



伐期を迎える切原県有林のカラマツ

### <森林整備の方向>

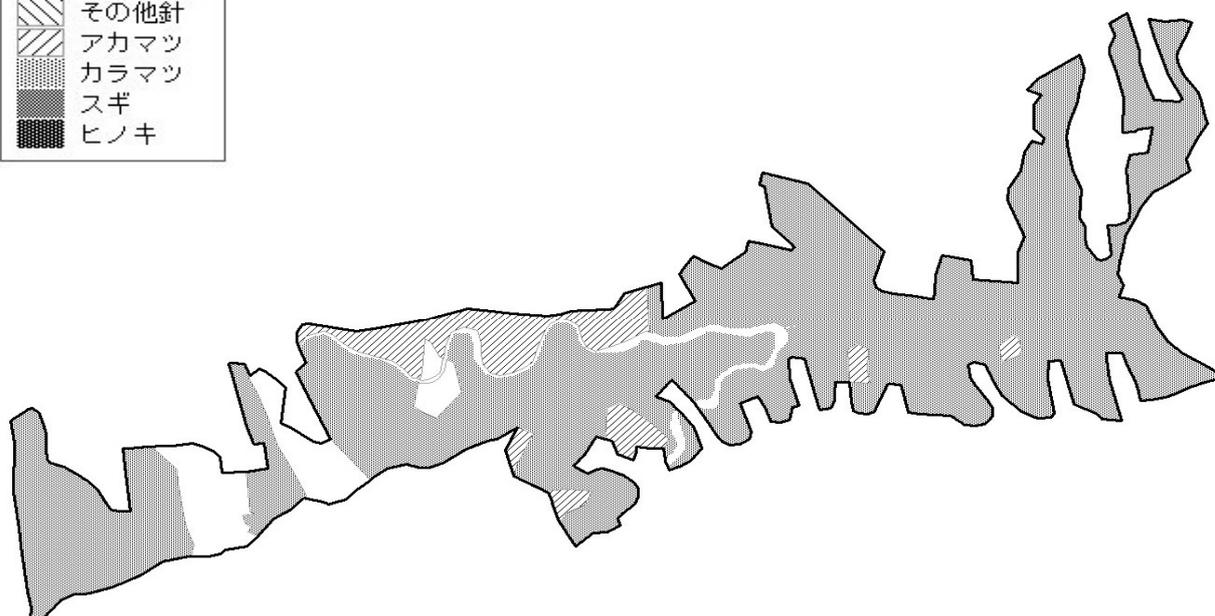
林道西山線と作業道切原線を中心に、傾斜が25度以下の林分においては、効率的木材生産型施業として主伐を行い、その後、カラマツの再造林を行います。

傾斜が25度を超える林分においては、帯状伐採や小面積分散型施業を実施し、カラマツの再造林を行います。

### <樹種別資源構成>

単位：ha

面積	スギ	アカマツ	ヒノキ・ナラ	カラマツ	その他針	その他広	除地・保残帯
48.33		3.18		38.71		3.9	2.54
100%		7%		80%		8%	5%



### <齢級別資源構成>

